

第 8 回琴浦町地方創生推進会議（結果）

日時：平成 28 年 3 月 1 日（火）19：00～20：40

場所：本庁舎 防災会議室

1. 参加者	委員 20 人、事務局 4 人、町長、米田コンシェルジュ
2. 欠席者	中谷委員、安谷委員、亀田委員、朝倉委員、福山委員
3. 内容	<p>1 地方創生加速化交付金について、町長、事務局より説明 2 月 22 日臨時議会提案前に推進会議で意見をいただくべきところ、時間的制約等から事後説明となったことをお詫び。改めて内容について意見を募る。 →農業、健康、観光の 3 事業について、特に反対の意見なし。</p> <p>2 平成 27 年度地方創生関連交付金事業進捗状況説明（別紙） →現時点での中間報告（担当課としての評価）を説明。改めて 28 年度当初に 27 年度の進捗報告と検証、28 年度の事業説明を行う。</p> <p>3 平成 28 年度地方創生新型交付金についての概要説明</p>
4. 主な意見	<p>推進委員からの主な意見は、次のとおり。</p> <p>■地方創生加速化交付金について 全体として否定的な意見はなかったが、取り組んでいく中で検討することについての意見があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リーダー育成が必要。青年組織、農協生産部の法人化なども視野に、主体を持った意識改革が必要となってくる。 ・「健康」は、運動などフィジカルなものだけではない。芸術や伝統など、多様な中から選択し、総合的に健康的に寿命を延ばすという視点も。 ・どういう議論を経て、実施計画をまとめたか。 →担当課レベルで、総合戦略の基本テーマにあるものの中から、平成 28 年度に取り組もうとするものを組み合わせ調整した。 ・芝の結束機については、試作 2 号機は実用性のあるものという印象を受けたが、事業に取り組むにあたり、町にとってのメリットをどう考えるか。数値指標となるものの有無や、特定の業種に対する開発、ということについて。 →企業などは取り組みにくいものはしないので、町がその開発をし、企業に売ってもらうという最初の取り組みだと思っている。町としては、芝産地を将来にわたって守るために、という思い。 ・試作機の圃場試験での参加者の意見は。 →2 号機の印象としては悪くなかったようで、鳥大の試作機の方が評価が高かった。 ・テレビ番組制作について。テレビの効果測定をどうするか。専門家等への依頼も検討しては。 →視聴率がどのように反映するか分からないが、効果測定についても勘案しながら、それでもこの番組制作に挑戦してみたいという思いで提案したもの。

■平成 27 年度地方創生交付金事業進捗状況について

・担当課の 5 段階評価について、KPI 達成状況の割合等で評価しているが、どのような数字をどう判断してこの評価としたかを、具体的に説明してもらえると分かりやすい。(次回の検証時の説明で)